

## ＜教育利用＞ ③「書くこと」においての課題設定・推敲

### ◆国語2年 「意見文を書く」

#### ● 単元の目標と活動内容

- ・地域や社会全体で話題になっていることや、問題を感じていることの中から課題を決め、意見文を書く。
- ・適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。

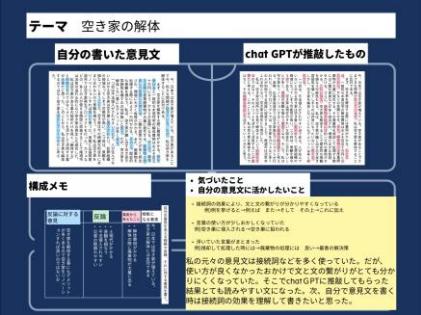
#### ● 具体的な生成AI活用の場面

- ・意見文の課題設定でAIに候補を挙げてもらう。
- ・意見文を書いた後、AIで推敲する。
- ・自分が書いた文章とAIが推敲した文章を読み比べて分析し、伝わりやすい文章について考える。

#### ● 生成AI活用の流れと効果

社会で問題になっていること等を生成AIを用いて、意見文の課題として設定する。

観点ごとにメリット、デメリットを書き出し、賛成・反対の立場を決める。反論を入れて、意見文を書く。



書いた意見文を、生成AIを用いて推敲する。

生成AIが推敲したものと、自分が書いた意見文を比べ、どこがどう良くなつたかを分析する。

意見文など「書くこと」の授業において、課題設定の時点で苦戦する生徒が多いが、生成AIを使うことで、内容を考える段階に早く入れた。AIが推敲した文章と自分の書いた文章を読み比べることで、内容の順番などの構成や、接続詞・指示語などに着目し、伝わりやすい文章について考えることができた。

#### ● 今後の課題・今後の取組の方向性

生成AIを使うタイミングは課題設定と推敲のみを想定していたが、観点の設定や根拠などの材料までAIに聞き、どこまでがAIでどこからが生徒か曖昧な文章になった生徒もいた。